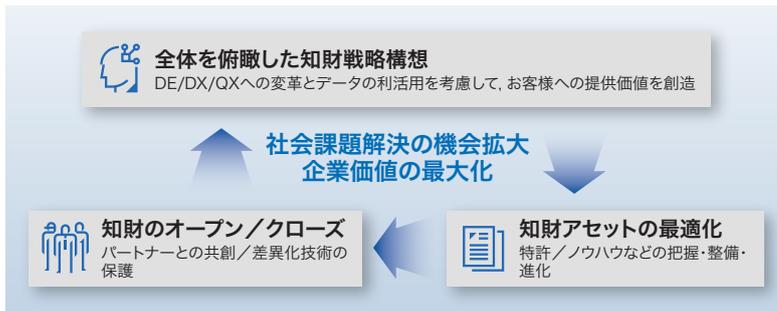


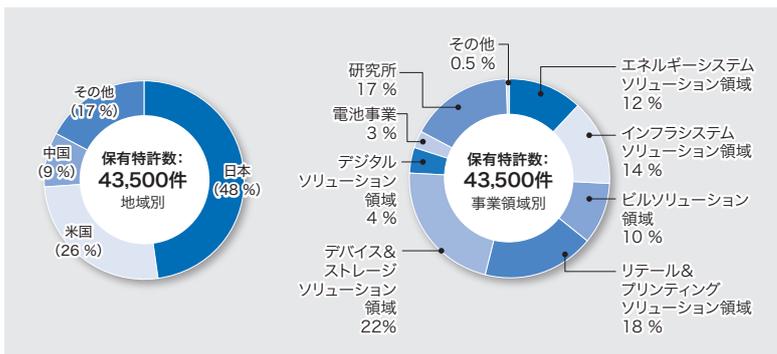
東芝グループは、強みであるフィジカル領域を生かして、DE（デジタルエボリューション）、DX（デジタルトランスフォーメーション）、更にはQX（クオンタムトランスフォーメーション）といった先進領域における事業スキームを俯瞰（ふかん）し、知的財産（以下、知財と略記）戦略の構想と実行に注力しています。

この戦略の下、特許やノウハウの把握・整備・進化（知財アセットの最適化）を推進するとともに、パートナーとの共創や差異化技術の保護（オープン/クローズ戦略）を通じて、知財を経営資源の一つである“知的資源”として活用し、社会課題解決の機会拡大と企業価値の最大化を図ります。

知財部門は、デジタルエコノミーの発展のため、データの保護・利活用やノウハウ管理を進め、強い技術・製品を支える知財力を情報分析などで向上させて、各事業の知財戦略に応じた最適なポートフォリオを構築しています。



知財戦略



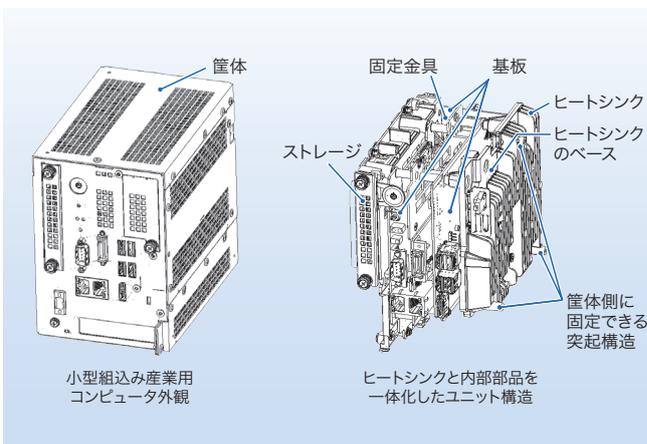
2024年度の保有特許ポートフォリオ

発明表彰

令和7年度関東地方発明表彰【発明奨励賞】

ヒートシンク、および電子機器ユニット（特許第6877523号）

この発明は、冷却ファンを使用しない電子機器の放熱構造に関する技術である。従来は複雑な構造や大型ヒートシンクが必要で冷却性能や組立性に課題があった。この発明では、ヒートシンクのベースに凸形状を設け、部品との干渉を回避しつつ放熱面積を確保し、自然空冷による効率的な冷却を可能にした。更に、ヒートシンクに基板側と筐体側を固定できる突起構造を設け、基板や固定金具などの内部部品をユニット化することで、組立作業の容易化を実現した。この構造を“小型組み込み産業用コンピュータCP30 mode 300”に適用することで、高い冷却性能と優れた組立性を両立した。



Clarivate Top 100 Global Innovatorsを14年連続で受賞

Top 100
Global
Innovator
2025

Clarivate

グローバル情報サービス会社であるClarivate Plc（以下、クラリベイトと呼ぶ）が選定するClarivate Top 100 Global Innovators 2025に、当社が選出された。今回は、2012年の創設以来、14年連続での受賞となる。この賞は、国際的な特許の出願・登録実績を持つ企業・組織を対象に、クラリベイトが独自の評価指標（影響力、成功率、グローバル性、希少性の組み合わせ）に基づいて選定するものであり、独創的な発明を知的財産権で保護し、事業化へと結びつけている世界トップクラスの企業・組織100社が表彰される。